

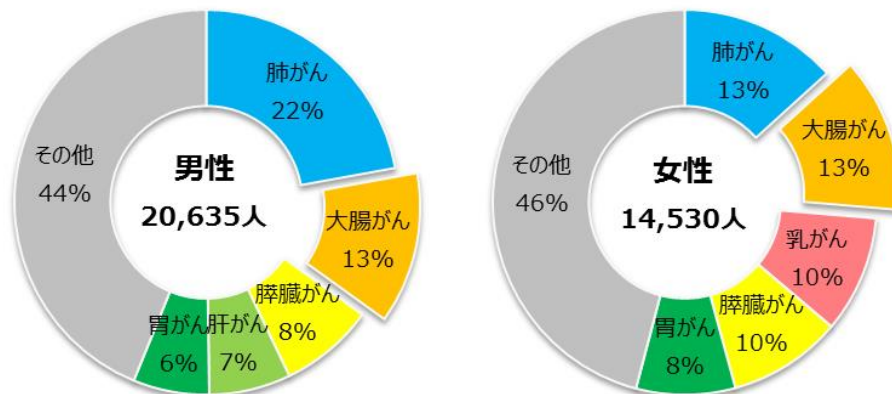
大腸がんについて



東京都がん検診啓発キャラクター
「モシカモ」くん

★がん死亡数のうち、男女とも第2位の死因

都民におけるがん死亡者数を部位別に多い順から見ると、大腸がんは男女とも2番目^{※1}に多くなっています。



※1 東京都福祉保健局
「人口動態統計」(平成29年)

★運動習慣が大腸がんのリスクを減らします

がんの予防には、生活習慣を見直すことが効果的です。

とりわけ運動などの身体活動が、大腸がんになる確率を減らすことが科学的に証明されています^{※2}。

※2 科学的根拠に基づいた「日本人のためのがん予防法」(国立がん研究センター)

★早期発見により高い確率で治療が可能です

大腸がんを、早期発見・早期治療した場合の5年相対生存率は98.5%^{※3}です。早期の大腸がんは自覚症状がないため、大腸がん検診を毎年受診することが大切です。

※3 がんの統計 '18 (がん研究振興財団)

5年相対生存率とは

あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標です。100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど治療で生命を救い難いがんであることを意味します。

(出典：国立がん研究センターがん対策情報センター)

大腸がん検診とは？

- ・40歳以上が対象です。
- ・便を採取するだけの便潜血検査(便中の微量の血液を調べる検査)なので、大変簡単で、体への負担もありません。
- ・この検査は、大腸がんによる死亡率を下げる効果が証明されています。
- ・大腸がん検診はお住まいの区市町村、職場[※]や人間ドックでも受けることができます。
- ※ 実施の有無については、各職場にご確認ください。
- ・区市町村によっては、検診費用の一部を区市町村が負担している場合もありますので、ご確認ください。
- ◇ 各区市町村のがん検診担当部署・ホームページの一覧はこちら

東京都福祉保健局ホームページ「区市町村のがん検診担当部署 | とうきょう健康ステーション」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/contact/index.html>

